

## 事業方針

令和5年度は令和2年から3年以上も続いた新型コロナウイルス感染症の収束とともに、イベントの自粛、不要不急の外出制限などが大幅に緩和され日常生活や経済活動に活気が戻り始めた。このような中、協会の事業活動も定時社員総会後の交流会や企業見学会も4年ぶりに実施できるなど平年ベースの活動ができた。

さて、世界では令和5年11月30日から12月13日にUAE(アラブ首長国連邦)のドバイで国連気候変動枠組条約第28回締約国会議(COP28)が開催された。採択された成果文書には「この10年で化石燃料からの脱却を加速させる」と明記され、初めて化石燃料全般を「脱却」の対象とし、10年間という目標を定めた。このほか再生可能エネルギーの設備容量を30年までに世界で3倍に増やすことも決まった。一方、社会情勢ではロシアによるウクライナ侵攻が長期化する中、10月には中東のイスラエルとパレスチナの激しい衝突が勃発し、共に解決が見通せない状況になっている。それは全世界に影響し、本来であれば世界が地球温暖化を食い止めるために温室効果ガスの削減、省エネルギー化の促進、再エネルギーの積極導入などを進めなければならない時にこれらの混乱の早期の解決が望まれる。

国内では、世界の混乱の中で、石油等のエネルギーの確保、小麦などの食料の確保などが優先され、環境への対応が遅れる懸念もある。地球沸騰化とも言われる昨今、令和5年は梅雨期の大雨、11月に入っても夏日を記録するなど地球温暖化による異常気象を特に実感させられた。

気象庁の報道発表では、長期的な温暖化に伴う水蒸気量の増加傾向の影響で雨量が増大した可能性があるとしている。長期的に見れば、日本では極端な大雨の発生頻度は増加傾向であり、今回の大雨は地球温暖化に伴う気温上昇によって降水量が増加した可能性を示唆している。

政府は「2050年のカーボンニュートラル」を目指し、そのために「政府の財政支援」「関連分野の規制・制度改革」「循環型社会の構築」など一層の取り組みが求められる。政府の強いリーダーシップの下、企業の温室効果ガスを削減取組み、国民一人ひとりの生活習慣の見直しが必要である。

令和6年度の協会の事業は、引き続き法令遵守に加え、多面的な視点から環境問題を取り上げ、必要な知識を学習・理解してもらうことを目的とした研修会、中央省庁から講師を招いての講演会、産学連携講座や講演会の共催や後援、森林整備ボランティア活動、企業見学会を通じて積極的に環境問題に取り組んでいる企業の体験型研修を企画し、環境に関わる人材育成に努める。昨年、初めて実施をした水質事故対応訓練の講習会も継続事業となるように会員企業や各環境事務所の協力を得ながら継続できるように努めていく。また、プラスチックごみの発生抑制と資源循環の取組推進、生物多様性を見識を高めるために滋賀県の協力を得ながら研修会や広報等の機会を企画していきたい。

会員数も積極的な勧誘活動により増加し、会員数400先達成のため引き続き新規勧誘をお願いすると共に、協会会員間の情報交換がより活発に行えるプラットフォームの役割を担うためにも会員の皆様には各種イベントへのご協力、ご参加も併せてお願いしたい。

令和6年度も滋賀県琵琶湖環境部、総合企画部、商工観光労働部、大津市環境部、各大学等の関係団体との連携を深めながら、会員皆様の環境活動にお役に立てる様に努めていく。

## 令和6年度事業計画

※文書内( ):事業仕分 (公)=公益目的事業、(収)=収益事業他、(法)=法人管理別

### ◀ 総務広報委員会 ▶

1. (公)・広報誌「碧い湖」 年間2回発行 5月第78号 11月第79号  
時宜を得た特集テーマをメインに掲載、新規会員企業の紹介他  
会員企業の広告掲載(1回 税込10,000円)  
新春特別講演会 GX時代における循環経済(サーキュラーエコノミー)について  
経済産業省 産業技術環境局 資源循環経済課 総括補佐 吉川 泰弘氏  
生物多様性しが戦略2024  
滋賀県琵琶湖環境部自然環境保全課  
5月第78号予定
2. (公)・新春賀詞交歓会 新春特別講演会 賀詞交歓会  
開催日:令和7年1月22日(水)  
場 所:琵琶湖ホテル
3. (公)・滋賀県からの法令関連や表彰関連、大学からの講演会等の情報を随時メール配信
4. (公)・令和6年度環境美化運動(滋賀県他県内市町)へ協力団体として参画

### ◀ 企画委員会 ▶

1. (収)・表彰事業(滋賀県環境保全協会会長表彰) 令和6年5月29日(水)  
令和6年度定時社員総会終了後 場所 びわ湖大津プリンスホテル  
個人・団体・企業別表彰後にプレゼンテーションを実施
2. (公)・森林整備ボランティア活動  
①開催日:令和6年10月5日(土)  
場 所:多賀 高取山ふれあい公園  
②開催日:令和6年10月12日(土)  
場 所:朽木 森林公園くつきの森  
③開催日:未定  
場 所:栗東 こんぜの里 ①②③共に雨天の場合は中止
3. (公)・産学連携事業  
立命館大学・龍谷大学・滋賀県立大学との連携事業継続  
① 立命館大学 ・琵琶湖・環境イノベーション研究センター(後援)  
② 滋賀県立大学 ・8月~9月インターンシップ生1名程度受入予定  
③ 龍谷大学 ・REC BIZ-NET研究会との連携及び協力  
公害防止管理者(水質関係)資格試験「事前受験対策講座」(後援)  
開催日 :令和6年7月2日、4日、11日、18日  
開催方法:ハイブリッド(対面+オンライン)開催

4. (公)・「法・条例を学ぶ講習会」(後援:滋賀県・協力:大津市・共催:(公財)滋賀県環境事業公社)  
「当協会の事業のメイン講座としての位置づけから上期実施の継続事業」  
開催予定日:6回シリーズ 9月11日・13日・18日・20日・25日・27日  
場 所:コラボしが21
5. (公)・水質事故対応訓練講習会(2回目の事業)  
東近江環境事務所との共催  
① 開催日:令和6年10月頃  
場 所:滋賀県立男女共同参画センター
6. (公)・資源循環のプラットフォームづくりの検討(新規事業)

《 組織活性化委員会 》

1. (法)・会員増強…【 目標 400 先 】  
会員 400 先を達成する  
新規会員への滋賀県環境関係条例集の贈呈
2. (公)・「地域別環境保全研修会」(共催:滋賀県 6 環境事務所および大津市の合計 7 地域)  
《目的》…「滋賀県環境事務所 6 カ所と大津市環境部環境政策課と連携」  
事業場立入調査の結果報告並びに法改正の情報提供、環境への取組等の事例発表  
をもとに地元企業の共通課題を解決するための研修会としての位置づけ  
開催時期:令和7年2月～3月
3. (法)・関西環境管理者交流会((公社)京都工業会・神戸地区環境保全連絡協議会・当協会)  
幹 事:当協会 (5年度は(公社)京都工業会が幹事で京大農場にて開催)  
開催日:令和6年10月  
場 所:滋賀県立大学
4. (法)・会員企業の展示ブース設営  
開催日:令和6年5月29日 定時社員総会・会長表彰式の会場で設営